



「国」史跡

よなごじょうあと

米子城跡 ガイドマップ

—Yonago Castle Ruins Guidemap—



天守から城下町まで
米子城跡の見どころ
盛りだくさんの
ガイドマップ

島根半島に沈む夕日が
中海の湖面に描く太陽の道「オレンジロード」
米子城からは、5月初旬～下旬頃と7月下旬～8月上旬頃、
八尋鼻と菅島の間オレンジロードを見ることができます。

さえぎるものが何もない
360°パノラマビジョンの世界。

大山の山頂部から日が昇る「ダイヤモンド大山」

米子城からは、2月20日頃と10月22日頃に見ることができます。

米子城の歴史

米子市の中心地湊山に築かれた米子城は、山頂に五重の天守閣と四重の副天守閣（四重櫓）を持ち、「山陰随一の名城」とも称される壮麗な城であったといわれています。

現在、建物は失われていますが、石垣などは往時の姿をよくとどめており、天守跡からは秀峰大山、日本海、市街地、中海などが一望できます。平成18年（2006）に、本丸、二の丸などが国史跡に指定され、令和3年（2021）三の丸の一部（旧湊山球場）が追加指定されました。

戦国時代の米子城は、室町時代、応仁の乱の頃（1467年〜1487年）に山名宗之により砦として築かれたことに始まると伝えられます。

石垣を備えた本格的な城は、戦国時代末期の天正19年（1591）頃西伯耆・東出雲の領主となった吉川広家により、湊山に築城が開始されたといわれています。

慶長5年（1600）の関ヶ原の戦後、吉川広家は岩国に転封、代わって伯耆18万石の領主として駿河から入った中村一忠により米子城は慶長7年（1602）頃に完成したといわれています。

その後、慶長14年（1609）に中村一忠が急死すると、翌年に加藤貞泰（6万石）が美濃国から入城し、元和3年（1617）加藤氏が伊予・大洲に転封した後は、因幡・伯耆の領主池田光政の一族の池田由之が米子城預かり（3万2千石）となりました。寛永9年（1632）に池田光仲が岡山から因幡・伯耆の領主となると、家老・荒尾成利（1万5千石）が米子城預かりとなり、以後、明治2年（1869）に藩庁へ引き渡されるまで、代々荒尾氏11代が城を預かり管理しました。

Yonago City, Tottori Pref.

絶景の城 米子城

国指定史跡

A castle with a superb view. Yonago Castle.

Recommend spot

本丸のここ見て！行って！ 見どころスポット



湊山山頂部に高石垣で囲われた郭で、天守郭、遠見郭、番所郭などから構成されています。
天守郭には、天守、四重櫓の二つの建物が築かれていました。

本丸整備イメージ図



戦国時代の歴史を 今に残す城

秀吉の思惑
米子城は、豊田秀吉の命により、月山富田城(安来市)を居城とした毛利元就の孫・吉川広家が、日本海側の支城として築城したと伝えられています。
また、広家も出陣した朝鮮出兵(文禄・慶長の役)の前年に築城が開始されたことなどから、築城の背景には朝鮮半島に備えて日本海側の備えを必要とした秀吉の思惑があったのではないかと考えられています。米子城は、戦国の世で必要とされ、築かれた城だったので。

整備イメージ図 三の丸側

1 番所跡



本丸の番所がありました。ここから枳形にむかって堅堀がのびています。

2 遠見櫓



眼下の中海の眺望と振り返るとそびえたつ天守台は迫力があります。登り石垣はここにつながっています。

3 水手御門



天守西側中海側に張り出した郭から深浦側へ下る道に続きます。

4 鉄門跡



ここには、鉄板が張られた堅固な門がありました。東側の米子駅方面を向いています。

5 四重櫓台



幕末に補修された切込接の石垣が天に聳えます。角に忘れ石があります。

6 本丸(天守台)



天守からの360度のパノラマは最大の魅力です。「海に臨む天空の城」、本丸から臨む城下町、大山、中海の眺望を満喫できます。

石垣の注目ポイント

- 1 鉄門跡では四重櫓の石垣は、打込接が途中から幕末に改修された切込接の石垣に代わる見事な石工の技がみられます。
- 2 天守台の石垣は築城当初ののですが、控え積の石垣は上段が平成、下段が昭和の積み直しです。
- 3 鉄門近くに残る矢穴のある「残念石」は、湊山のもともとの岩盤です。城山の岩を切り出して城を作ったことがよくわかります。一体なぜ、ここに削り残したのでしょうか？
- 4 遠見櫓から登り石垣をのぞいてみよう！(高いので十分気をつけてください。)

中海に臨む鉄壁の城

地の利を得た要塞
米子城が築城された時代は、戦国時代末期。戦が続く国内のみならず、朝鮮出兵もあつたため、海外からも攻め込まれるかもしれない乱世の時代でした。それゆえに、防御力の高い城が求められました。
米子城は、まさに防御力の高い「鉄壁の城」で、地形を巧みに生かした、さまざまな防御施設があり、北東の「堅堀」、北西の「登り石垣」などで御殿のある二の丸や本丸を防御していました。



整備イメージ図 中海側

米子城跡には

他にも見どころが

たくさん！

本丸の他にも米子城跡には見どころが満載です。米子城の歴史を感じてみませんか？



No.01 内膳丸
ない ぜん まる



No.02 登り石垣

内膳丸から本丸遠見櫓にかけて北西方向に尾根を登るように築かれています。

No.03 小原家長屋門
(米子市指定有形文化財)

城下にあった荒尾家臣小原家の屋敷門を移築したものです。

丸山に築かれた郭で、城下町に細長くはりだしています。この郭から本丸に向けて登り石垣を築き、中海側の防衛線が設けられていました。



VRでよみがえる米子城 6つのビューポイントでかつての米子城の姿をご覧いただけます。

- A 三の丸
- B 枅形
- C 二の丸御殿
- D 登り石垣
- E 番所跡(二つの天守)
- F 鉄門

VRはスマホアプリ「ストリートミュージアム」を使用します。ダウンロードはこちらから。



No.04 二の丸

湊山北裾の高石垣で囲われた二段の郭です。上段の郭には城主の御殿と武器庫、侍部屋等の重要な建物がありました。

No.05 三の丸

飯山から、湊山、丸山の北側まで巡る、内堀で囲った広い郭で、二の丸と共に政務を行う施設や、馬屋、米蔵などの施設や馬場もありました。



整備イメージ図

No.07 枅形虎口

二の丸の入口、城兵の集場所でもありました。

No.06 水手御門下の郭

平成27年度の発掘調査で発見された郭で、本丸南西中海側に張り出しています。



整備イメージ図

No.09 塹堀

二の丸枅形南側山裾から本丸番所郭にかけて北東方向に掘られています。



No.08 飯山(采女丸)

飯山に築かれた郭です。高石垣で囲われた三段の郭で、二段目は帯状に巡っていました。

No.10 御船手郭(深浦郭)

湊山の南山裾の中海深浦に面した郭で、ここは水軍の拠点として、海上防備と共に城下町に入る船などを監視していました。海城としての米子城を示す重要な郭です。



整備イメージ図

石垣の注目ポイント

- 1 枅形の築石には鏡石や石垣の割方がわかる矢穴の残る築石があります。探してみよう！
- 2 内膳丸入口右側の石垣は継ぎ足して入り口を狭くしています。
- 3 内膳丸から遠見櫓に伸びる登り石垣は戦国時代終わりに作られた堅固な米子城の象徴！

Let's go to Yonago Castle Ruins!

アクセス

米子城跡への



鳥取方面から:山陰道米子中ICより約10分
松江方面から:山陰道米子西ICより約10分
湊山公園駐車場または米子城跡三の丸駐車場をご利用ください。
 米子鬼太郎空港 約25分 / 米子駅

米子空港駅 (JR境線) 約25分 / 米子駅
米子駅から徒歩:枳形入口まで約15分
米子駅から路線バス:「米子城跡入口」下車、徒歩約3分

| 米子市HP |

米子城のことが丸わかり

もっと知りたい! 米子城

米子城に関する最新ニュースや広報よなご連載「教えて!米子城」のバックナンバー、フォトギャラリーなど米子城にまつわる情報が満載のコンテンツです。

今すぐチェック!



絶景の城 米子城 ホームページ
米子城の絶景シーンやダイヤモンド大山などのトピックスをまとめたコンテンツです。

問合せ

米子市国際観光案内所

〒683-0036 鳥取県米子市弥生町 (JR米子駅構内)
受付時間 9:00~18:00 (無休)
TEL 0859-22-6317 / FAX 0859-34-2981

制作

米子市文化振興課

〒683-8686 鳥取県米子市東町161番地2
TEL 0859-23-5438 / FAX 0859-23-5414
Email bunka@city.yonago.lg.jp